



▶乗客を出迎える伊香保温泉のおかみさんたちとの記念写真

今年7月1日、上越線渋川駅が開業してから100年を迎えました。7月3日に行われた100周年記念イベントでは、臨時運行された蒸気機関車のD51を伊香保温泉のかみさんたちがホームで出迎

かつては、渋川駅から上野駅まで、直通列車が走っていました。今は、新幹線が開業し、高崎駅で乗り換えて、以前よりも早く東京へ行くことができるようになりました。
鉄道の楽しみは、「乗り鉄」、「撮り鉄」などさまざま。全国に網の目のようにつながる在来線の魅力はたくさんあります。

早く遠くへの時代から、ゆっくりとのんびりと鉄道の旅を楽しんでみたいものです。



えてくれ、私も駅長服を着て出発式を行いました。

渋川駅は、伊香保温泉の玄関口として、また、水力発電による内陸型工業都市の貨物の拠点として、渋川市の発展とともに歩んできました。

駅の思い出は、皆さんにもたくさんあると思います。100周年を記念して、本庁舎の市民ホールで開催した企画展には、駅にまつわる数多くの思い出が寄せられました。

「58年前に父親の仕事の都合で、福島県から一家6人で渋川に来ました。渋川駅は家族の出発点でした」というエピソードや、在りし日の駅の姿を撮影した写真などが展示されました。私も、学生時代に渋川駅から上京した時に、駅で食べた立ち食いそばの味が忘れられません。